

地域学校運営理事会だより

「平田中学校区学校支援地域本部」

第3号 平成21年1月発行

地域学校運営理事会と 平田中学校区学校支援地域本部との関係は？

出雲市では、各小中学校に地域学校運営理事会が設置されています。これは、地域・学校・家庭の三者が協働し、地域の方々には積極的に学校運営に参画して頂き、子どもたちの教育を支えて頂くためのもので、年に数回理事会が開催されます。

一方、平田中学校区学校支援地域本部は校区の七つの小学校および平田中学校の地域学校運営理事会の諸活動を連合したもので、出雲市では「地域学校ブロック協議会」とも称しています。

これは、各学校での活動を把握し、より発展させていく拠点となる役割があります。

このため、校区全域の住民による学校支援の資料となる「人材バンク名簿」を作成し、各学校の要望に応じて適切な人材を派遣する業務、各種会合の報告、各学校で行われるボランティア活動の紹介、講演会等の広報をおこなっています。

「人材バンク名簿」にご登録をお願いします。

詳しくは下記にご連絡ください。

平田中学校区学校支援地域本部 TEL：0853-63-3050 (小川・山本)

第2回地域学校運営理事会が開催されました

12月22日、理事長を含め、理事11名、事務局1名、地域コーディネーター2名が参加しました。
議事

(1) 1・2学期の学校運営について

○各種行事

修学旅行 (9月10～12日)

2年生208名が一人の欠席者もなく、元気に京都方面に出かけました。

我が国の有数の歴史、伝統文化を誇る京都を直接見聞し、集団生活を通して社会生活上のルールを守る体験や級友との友情を深めるなどの旅行目的を達成して帰りました。

● 体育祭 (9月25日)

準備等順調に進み、当日は雨の心配もされましたが、スローガン「咲色～最強の絆で最高の感動を～」のもと、生徒たちの澁刺とした姿が印象的でした。途中、中国電力の電気トラブルがありましたが、運営理事・松浦剛司氏の奔走で解決し、生徒の思い出に残る大きな行事を無事終えることができました。

● 文化祭 (10月29日)

吹奏楽部・合唱部・美術部・科学部の発表、展示および学年展示・合唱コンクールなど中学生らしい真剣な取り組みが行われました。



• 地区民体育祭への参加（10月28日）

どの地区においても、生徒は役員などの役割を真摯に果たし、明日の地域を支える中学生として、地域の方々との交流は意義あるものでした。

○学習状況について

一般の「全国学力・学習状況調査結果」によれば平田中学校の学力は出雲市内中学校ではやや下位のグループに属しています。また、家庭学習の時間は平日で「2時間以上」は全国35.7%、県14.2%、市14.9%、平田中9.8%、逆に「30分以下または全くしない」割合は全国17.9%、県28.6%、市26.3%、平田中33.4%という数値でした。このことから、学力向上に向けて、小中一貫教育への取り組み、パワーアップ事業推進などの対策が話し合われました。また、家庭学習に対しては、家庭での「基本的生活リズムの確立」、メディア（テレビ・ファミコン・ケイタイ）への対応として「ノーメディアデーの設定」などが示され、理事の方からも多くの意見と提案が出されました。

(2) 学校評価について

学校のあらゆる施策に対して、学校内部からのみならず、生徒・保護者および運営理事による学校評価がなされます。この結果を受けて、2月上旬の「地域学校運営理事会」において、問題点の把握と解決への方策が審議されることとなります。

講演会が開催されました 12/5

講師の寺嶋先生は「コミュニティ・スクール推進フォーラム」京都会場での実践発表校の校長先生です。「地域と共に築くコミュニティ・スクール」と題して講演をいただきました。

『京北地域は平成17年に京都市と合併した。「山に良材、里に人材」を合い言葉として早くから地域と一体になり教育に取り組んでいたこの地域は、合併の結果、地元の願いが組織的に反映しにくい状況になってきた。そこで、1つの中学校と3つの小学校が連携し、学校運営協議会を立ち上げた。小中連携がすすむことで小学校区を越え、京北一円を同時に見渡しながらか、「今、京北の子に必要なことは何か」を問い続け、この連携の中に地域を巻き込み、先生方にまかせる農村地域の風潮から脱した。

京北の環境、歴史、文化など様々なジャンルの地域の指導者が授業や教職員の研修に活用されるようになっている。』

寺嶋先生の話には、今の旧平田市の現状と似た状況が多く見られ、今後の平田地域の教育に多くの示唆を与えて頂きました。



平田中「学力パワーアップ」の学習会にボランティアさん参加

正月気分のまだ抜けきらない、1月5～7日中学校1年生の学習会に、先生やスクールヘルパーさんに混じって、地域の住民の方がボランティアとして生徒たちと交流していただきました。

